平成２６年度　事務事業マネジメントシート

事業名	特別養護老人ホーム整備支援事業			会計 款 項 目 大事 小事
政　策	04	4節　誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課
施　策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり	主管課長	早川　仁

Ⅰ　事務事業の目的・内容

事業目的	対象	特別養護老人ホーム入所希望待機者	意図	特別養護老人ホーム入所希望待機者の解消
事業内容	新規特別養護老人ホーム運営事業者の公募及び選定、県との協議等			
事業開始から現在までの状況変化	昭和58年5月　初石苑開設(60床) 平成11年4月　あざみ苑開設(108床) 平成23年4月　流山こまぎ安心館開設(100床)		昭和62年4月　リバーパレス流山開設(100床) 平成17年11月　はまなす苑開設(60床) 平成25年2月　月の船開設(100床)	

Ⅱ　事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		名　称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	特別養護老人ホーム入所希望待機者数	581	558	589		↘↘↘	（各年度　1月1日現在数値）
	②	市内特養箇所数	6	6	6		↗↗↗	
	③							
	④							

指標で表すことができない定性的な成果	

事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事務事業の総コスト(a=b+c)		69,870	69,093
事業費（b）（円）			
うち一般財源			
職員給与費（c）(円)		69,870	69,093
人役・職員(人)		0.01	0.01
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数　（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）

特別養護老人ホーム入所待機者数については、横ばいである。

平成23年4月　流山こまぎ安心館開設
平成25年2月　月の船開設

Ⅲ　事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善　＜※主管課長記入＞

(1)　事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A　必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B　達成できなかった
		市関与の必要性	C　民間企業やＮＰＯが担うべき	効率性	対象者の適切性	A　対象者は適切である
					コストの削減	A　削減の余地はない
総合評価						

(2)　事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	第5期介護保険事業計画に基づき特別養護老人ホームの整備を進める。
②今年度(H26)に実施した取り組み	特別養護老人ホーム100床の整備に向け、開設事業者の公募及び選定し、名都借地区において整備。
③取り組みの課題	入所希望待機者の中に要介護度４・５の重度者が、300人おり、特にこれらの方々の特別養護老人ホーム入所が急務である。
④今後の改善計画	第6期介護保険事業計画に、特別養護老人ホームの整備について適切に位置付け、開設事業者の公募及び選定をする。